



**TAKESHI EGUCHI** 兵庫県出身  
 昨年、札幌から秋田へ。北海道での営業経験を  
 活かし、納得行くまでプランをご提案します。  
 休日は野球とゴルフで汗を流す24歳。

# 生活リテラシーシリーズ

**VOL.7** ● 秋田市東通 ○様邸

「子どもの将来も考えて…」  
 間取りに工夫を凝らした新居には  
 今日家族の笑顔があふれています

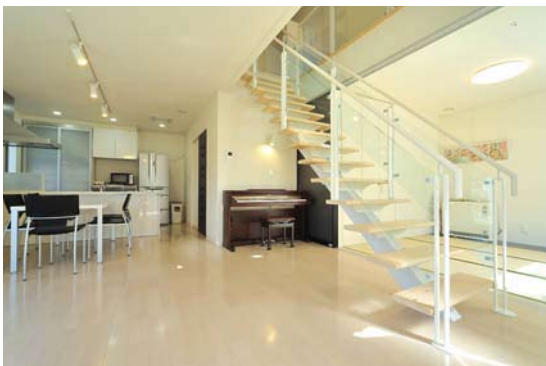
「セオリーどおりじゃない家を作りたい」それがO様のご希望でした。何がお客様にとってベストなのか、どうしたら満足していただけるのか。その可能性を探り何回かのプラン変更も経て、お客様と一緒に一棟の家を完成させるのが住宅営業の醍醐味です。若手営業マン江口が自信を持ってオススメするO様邸をご紹介します。

\* literacy  
 「生活リテラシー」  
 は暮らしと住まい  
 をより豊かにする  
 カ・才能を意味  
 します。



**POINT 2** リビング内に階段を設けたのは、3人のお子様の年頃を考えて。帰宅した際など、否が応でもリビングを通らなければ自分の部屋へ入れないように設計を工夫しました。そうすることで、自然と家族で顔をあわせる機会が増えますから。また、階段の素材をシースルーにして重圧感を減らし、リビングと隣の和室とのつながり感も重要視しました。

**POINT 1** 「いろいろな展示場を回って、一番親切だったから」と積水ハウスを選ばれたO様ご一家。角地だということに気をせず暮らせるように、家屋の周囲を庭で囲みました。お子様がゆうゆう走り回れるスペースです。



**POINT 3** 常に光が入るようにと作られた子ども部屋の吹き抜け。将来的にお子さんそれぞれが独立して部屋を使えるよう、間取りアレンジ自在の可動式引戸を付けました。長女の部屋にはハンモックを吊り下げて、お気に入りのキャラクターがいっぱいです。

**POINT 4** 静かにひとりで仕事もできるご主人の書斎兼寝室。こじんまりとした広さが逆に落ち着くそうです。

**POINT 5** 入り口の表札前でお客様をお出迎えするのは、お子さんたちの手型。カラフルなアクセントと3人のイニシャルも付けて、マイホームが完成した2009年の思い出が後々まで残されることでしょう。



秋田支店・さきがけ店へ行って聞いてみよう！

秋田支店とさきがけ店を掛け持ちで勤務する江口営業マン。フットワーク軽くお客様のもとへ駆けつけますので何なりとお申し付けください。

●お問い合わせ先



**積水ハウス株式会社**

国土交通大臣免許(13)第540号 国土交通大臣許可(特-17)第5295号  
 (社)不動産協会会員 (社)首都圏不動産公正取引協議会加盟

[www.sekisuihouse.co.jp](http://www.sekisuihouse.co.jp)

0120-35-6901

[www.sekisuihouse.co.jp](http://www.sekisuihouse.co.jp)

